



## 利用者の皆様へ

来園するには新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

南遊具広場(トランポリン)の閉鎖  
遊具が破損していますので、補修が  
すむまで閉鎖致します。

公園からの  
お知らせ

## 公園の帰化植物

7月号に引き続きマメ科植物

ウマゴヤシ マメ科 地中海沿岸原産

2年生草本、帰化植物。馬の飼料になるので「馬肥やし」。沖縄の各島に分布。草姿はコメツブウマゴヤシに似ているが、花が大きい、実の大きさが違うなどで区別する。シロチョウ科ミナミキチョウの食草。



ヒメギンネム(タチクサネム) マメ科 中央～南アメリカ原産

小低木。沖縄へは1965頃渡来。道端、空き地、畑の周辺、公園、校庭などで普通に見ることができる。同じころ侵入したハイクサネムに似ているが、さやが細長く草姿が立つので区別できる。ただ、ハイクサネムが急速に勢力を広げていてヒメギンネムが少なくなってきた気がする。



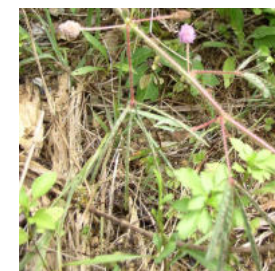
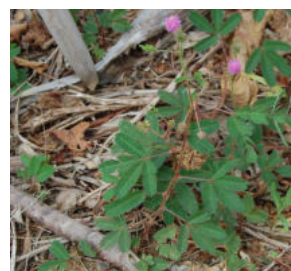
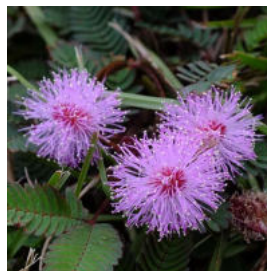
エダウチクサネム マメ科 南～中央アメリカ原産

木本状多年生草本。1975年に名前はアメリカクサネムとついていたが、1977年にエダウチクサネムに名前が変更された。



オジギソウ マメ科 南アメリカ原産

多年草。園芸では1年草として扱う。茎に毛があり節の下に鋭い刺がある。花は薄いピンク色で球形。葉の刺激運動及び睡眠運動の代表的植物。運動の原因は刺激により運動器官の細胞に活動電位がおこり、運動が誘発される。大正以前から栽培、移出。



タチシバハギ マメ科 南アメリカ原産

草丈は20～40cmほど。花は小さなピンク色、小さな四角形の鞘が連続でつける。小さな鞘は無数のとげがついていて、人のつけている服によく付着する。そのため、戦後帰化したにもかかわらず、沖縄全域で見られるようになったようだ。少しだけ生えているだけならいいのだが、はびこると厄介。



中城公園ニュースレター

くもぐす

2021年8月号

中城公園管理事務所 〒901-2315 沖縄県北中城村字荻道平田原370-2

TEL(098)935-2666 FAX(098)935-3533

<https://nakagusukupark-osi.jp>

指定管理者 おきなわスポーツイノベーション協会 編集・発行:比嘉正一

